

学校だより 5月号

令和8年5月1日発行

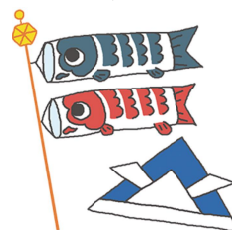
和歌山市立 楠見東小学校

【新緑の輝きとともに】

柔らかな日差しが降り注ぎ、校庭の木々の新緑が目には鮮やかな季節となりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、4月24日（金）の授業参観、育友会総会では保護者の皆様の多数のご参加ありがとうございました。

さて、新年度がスタートして早いもので一ヶ月が過ぎようとしています。一年生は、新しい担任の先生や友達、そして初めての教室での生活にも少しずつ慣れ、学校に自分の居場所を見つけ始めているようです。また、二年生から六年生の子供たちも、進級という大きな節目を越え、新しい環境の中で意欲的に学習や運動に取り組んでいます。

私自身も、明るい子供たちや温かい地域の皆様に支えられ、ようやく楠見東小学校のリズムが身についてまいりました。



【校門前の横断歩道で】

毎朝、校門前の横断歩道で子供たちの登校を見守っておりますが、そこでは毎日たくさんのパワーをもらっています。元気いっぱいので「おはようございます！」と声をかけてくれる子、少し体が重そうで元気がなくても、そっと目を合わせて会釈をしてくれる子。その一つひとつの反応に、子供たちの「今日も頑張るぞ」という心の動きが感じられ、安心させられます。

【あいさつは魔法の言葉】

ところで、「あいさつ」は、心と心をつなぐ一番身近な魔法です。声に出すことが得意な子もいれば、少し照れくさい子もいます。大切なのは、相手の存在を認め、心を向けること。たとえ声にならなくても、目を合わせたり、小さく頷いたりするだけで、そこには確かな交流が生まれます。



ご家庭でもぜひ、「おはよう」の一言から始まる爽やかな一日を大切にしてみてください。学校と家庭が手を取り合い、子供たちの心がより豊かに通い合うよう、今月も温かく見守っていきたいと思います。

（校長 岩崎 新太郎）